

# 【ねがいましては】

平成17年8月31日

第179号

KYOWA SCHOOL

「思い」

病院の中へと入り、私とスタッフの「S」ちゃんは、点滴治療を受けている「MN」ちゃんとスタッフの「MO」ちゃんを探します。じっとしているには少しばかりエアコンが効きすぎているロビーに二人はいました。「MN」ちゃんは小学2年生、数年に一度というぜんそくの発作が出てしまったのです。せっかくのキャンプだというのに……。

「MN」ちゃんは大きなタオルケットに身を包み、じっと点滴を受けています。そこへ「S」ちゃんが駆け寄り、そっと手を握ります。ご両親から遠く離れて心細いことでしょう。「S」ちゃんのその行動は、後から「MO」ちゃんより聞いたことです。私も傍にいたのに全く気がつかず、その行為がとても大切なことであったことに気がつかれました。確かに心細い時、悲しい気持ちの時、そっと触れてくれる「手」のぬくもりは、何物にも変えがたい「思い」が感じられます。幼少の頃、風邪をひき床に伏せているとき、そっと握ってくれる母の手は薬など要らないくらいに効き目があるものです。

しばらくして「MN」ちゃんはこっくりこっくりとうたた寝を始めました。温かい光景がロビーの冷たい空気まで暖めようとしています。当の「S」ちゃんはビーチサンダル姿で少々寒かったとのこと。

様々な家庭で育った様々な子達が一つ屋根の下で生活することは、そう平和な風ばかりが吹くものではありません。特に「自分の生き方」を貫いてきた子供たちには壁が立ちはだかります。簡単な表現で言えば「わがまま」ということです。いつもなら自分の思うがままの行動が取れるはずなのに……おかしいな……いよいよ人生の勉強が始まります。

今年5年生になる「K」君は、2年生のときからのキャンプ常連さん。それはそれは入塾当初から私に叱られる、でも私は彼の切れの良い性格が好きで、ご両親には「総理大臣の素質があります。」とベタボメ……。そんな彼もいよいよ先輩風を吹かせる立場になってきたようです。バンガローの中で繰り広げられる真剣な気持ちと気持ちのぶつかり合い。

「おまえなー、なんでも一番一番って、おれがおれがってするんじゃないよ、おれだってなー、2年生くらいのとき、ずいぶんくりたせんせいにしかれたよ。……（しばらく彼のお説教が続いたそうです。）……そのままだったらなー、おまえひとりぼっちになっちゃうぞ、友だちなんかひとりもできないぞ……。」

「K」君は泣きながら彼に訴えていたそうです。

5年生の子がここまで人のことに精一杯になれるのか……。傍でその光景を見ていたスタッフの「S」ちゃんは、その光景を私に知らせに来てくれました。

「なんか、『K』がさ、あまりにも先生の言っていることと同じこと言うもんだから、感極まっちゃって……。あんなに大人になってるんだもん。泣きたくなっちゃった……。うれしー……。」

「いいよ、思い切り泣けばいいじゃん。」「……。」私が差し出したタオルを手に、しばらく……。

「ちゃんとタオル洗って返してね。」「ズズッ……。」

そこまで私が染みこんでいたのですね。ありがとうございます。とてもとても責任を感じています。と同時にここにいる皆が「K」君のように他人に精一杯になれたら、そしてここにいる皆がその輪を日本中に広げることが出来たら、きっといじめなどという言葉はどこかへ消えてしまうと思います。

まだまだ荒削りな「K」君ですが、まだまだ勉強が大嫌いな「K」君ですが、「こころ」は100点ですね。ありがとうございます。とうとうしか言いようがありません。「思い」を感じます。私も「S」ちゃんも、「K」君からすてきなすてきなプレゼントをいただきました。もう一回、ありがとう。そして「K」君から精一杯のお説教をいただいた当人さんも、よかったね。その光景を周りで見ていた子たちも良かったね。「S」ちゃんからも一言、「私、この塾に来てなかったら、きつとぐれてたと思う。」この一言にも、ありがとう。

大学1年生になった「Y」ちゃん、ことしも私の首から足の裏まで、よくもまーもみほぐしていただきました。こんなに痛いマッサージは初めてです。あなたの「思い」を痛感しました。ありがとうございます。今年も炊飯はオール100点です。家族を心から大切に、家族を心から尊敬し、家族を心から心配している「Y」ちゃん。あなたはきっと幸せ印を手にする子だと思っています。スタッフの「Y」ちゃん、「A」君、本当にお疲れさんでした。

CAMP 大ファンの「MO」さん、今年も心温められて良かったですね。年、越せましたね。そして「F」さん、迎えに来るためだけのために、帰る前日夜中の2時にいらしてくれました。ありがとうございます。そして大鍋いっぱい「ほうとう」を作っていただいたキャンプ場の皆さん、ありがとうございました。そしてそして今年のキャンプ参加者の皆さんと、そのご家族の方々に……ありがとうございました。